

ジェンダーに関わる表現「女子力」の考察

— 「女子力」に対する評価における語彙・表現を通して —

馬 雯雯（中央民族大学）

要 旨

本研究は、「女子力」に対する評価における語彙・表現に焦点を当て、「女子力」ということばを分析するものである。分析に際し、まず、「女子力」の捉え方の全体像を把握した。そして、アプレイザル理論の attitude（態度評価）を分析の枠組として、「女子力」に対する評価における語彙・表現の分析を試みた。「女子力」の捉え方が一様ではないこと、「いいイメージ系」を持つ回答者は「女子力」ということばと「女子力」の持ち主の両方に肯定的評価を示している一方、「よくないイメージ系」を持つ回答者は「女子力」ということばのみに否定的評価を述べていること、「女子力」は二面性を持つことを明らかにした。

キーワード：評価表現、アプレイザル理論、態度評価、持ち主、二面性

1. はじめに

「女子力」はジェンダーを表す「女子」と接尾辞「力」によって形成された派生語で、2009年のユーキャン新語・流行語大賞にもノミネートされた。「女子」と「力」の結び付きによって、「女子力」は女子の力、女子が持つ能力を示し、ジェンダーの要素と能力の要素を混在させている。本研究では、「女子力」の捉え方を示す内容における語彙・表現に着目して、「女子力」に対してどのような態度が示され、「女子力」はどのように語られるのかを分析した上で、「女子力」の特徴を明らかにしたい。

2. 「評価」「評価表現」の捉え方

「評価」という用語には様々な捉え方がある。樋口（2001:43）は物の意義を明らかにする人間の意識的な活動のことを「評価」として捉えている。八亀（2003）は樋口の定義を踏まえて、「評価」について「この部屋広いね」という例を挙げて説明している。「この部屋広いね」と言うとき、「広い」という特性は、「この部屋」に客観的に備わっている特徴として差し出される一方で、話し手の中のなんらかの基準との比較のなかでもとらえられている」（p. 17）結果であると述べている。

また、佐野（2012）は「評価」および「評価表現」を以下のように定義している。

評価は個人もしくはコミュニティの価値観や規範の構築・保持・拡散・縮小・変更・破壊を施行するための社会システムであり、評価表現は評価を実現するための言語資源である。

（佐野 2012：9 下線筆者）

本研究の評価および評価表現は佐野（2012）を参考にして、以下のように定義したい。

評価は「女子力」にまつわる価値や規範に対して、意見・考え方を述べることで、評価表現は「女子力」について意見・考え方を述べる時に使われる語彙・表現などの言語資源である。

3. データと分析の枠組

3.1. データ

本研究は、「女子力」についての記述式のアンケート調査から収集した文字データを用いる。調査対象は首都圏のある大学の10代～20代の大学生・大学院生（合計：64名、女性：33名 男性：31名）で、調査期間は2019年の8月から9月上旬にかけてである。なお、アンケート調査は Google form を利用して、実施した。アンケートは九つの調査項目について行ったが、ここではその中から次の調査項目に対する回答をとりあげて分析する。

問4：「女子力」に対してどのようなイメージを持っていますか。

- いいイメージ
- どちらかというといいイメージ
- よくないイメージ
- どちらかというとよくないイメージ
- 特にイメージは持っていない

その理由：

「どのようなイメージを持っていますか」という問いに対しては64人全員から回答を得た。そして、そのうちの52人からそのようなイメージを持つ理由のデータが得られた。

3.2. 分析の枠組

本研究では、「女子力」の捉え方を示す語彙・表現から「女子力」の特徴を明らかにするため、分析の枠組として、アプレイザル理論 (Appraisal theory) を用いる。アプレイザル理論 (Appraisal theory) では、評価を engagement (形勢・やり取り)、attitude (態度評価)、graduation (程度評価) の3つに分けている⁽¹⁾。それぞれの定義を以下の表1に示す。

表1 アプレイザル理論における評価の分類およびその定義

分類	定義
engagement (形勢・やり取り)	:評価者の立場と読み手・テキストのディスコースに含まれる第三者の立場との距離を示すことで表される評価である。
attitude (態度評価)	: 評価極性を示すことで表される評価であり、ここには感情表現を示すことで表される評価も含まれる。
graduation (程度評価)	: 漸次的な表現 (「とても」・「すごく」など) を用いることで示される評価である。

佐野（2010）をもとに筆者作成

表1から、アプレイザル理論における評価は、主に、評価者の立場と読み手、第三者の立場との距離を示すもの、評価極性（肯定か否定か）、感情を示すもの、「とても」「すごく」といった程度を示すもので表されることが分かる。本研究は「女子力」に対する態度を示す記述における語彙・表現に着目するため、表1で示されている attitude（態度評価）の枠組に基づき、分析を行う。なお、attitude（態度評価）はさらに評価極性、評価基準、表現の直接性/間接性という3つの観点から捉えられる。その詳細を下記の表2に示す。

表2 attitude（態度評価）の詳細

観点	詳細
評価極性	positive（肯定）:肯定的な評価を表す表現 negative（否定）:否定的な評価を表す表現
評価基準	affect（感情） 評価表現：楽しむ、悲しむ、安心するなどの評価者の心情を示す語句
	judgement(規範・世評) 評価対象：人の習慣・性格・行動 評価表現：評価対象の特徴・性質を示す表現および、道徳・一般性・能力・信頼性を基準とする表現 例：不健康、非人道的、偏屈、勇敢など
	appreciation（反応・構成・価値） 評価対象：事象 評価表現：評価対象の特徴・性質を示す表現および、美学・構成の良し悪し・価値・有効性を基準とする表現 例：面白い、明瞭、単調、大切、効果的など
表現の直接性/間接性	inscribe（直接評価） 評価表現：態度語彙 invoke(間接評価) 評価表現：比喩表現、漸次的表現、修辭的質問、逆説、評価を呼び起こす可能性のある事実を示す表現

佐野（2010）をもとに筆者作成

本研究では、表2で示されている評価基準の affect（感情）、judgement（規範・世評）、appreciation（反応・構成・価値）および、表現の直接性/間接性の枠組に基づき、分析を行う^②。分析にあたっては、まず、「女子力」ということばに対してのイメージの全体像を把握する。そして、アプレイザル理論に基づき、「女子力」に対する態度を示す内容における語彙・表現を分析して、「女子力」に対する評価表現の分布を明らかにする。最後に「女子力」に対する評価表現およびその分布から「女子力」の特徴を探る。

4. 結果と分析

本節では、「女子力」の捉え方の全体像および評価表現を分析する。

4.1. 「女子力」の捉え方の全体像

大学生・大学院生の「女子力」に対する捉え方については、「いいイメージ」「どちらかというといいイメージ」「よくないイメージ」「どちらかというとよくないイメージ」「とくにイメージは持っていない」という五段階評価で調査した。その結果の全体像は下記の図1のようである。

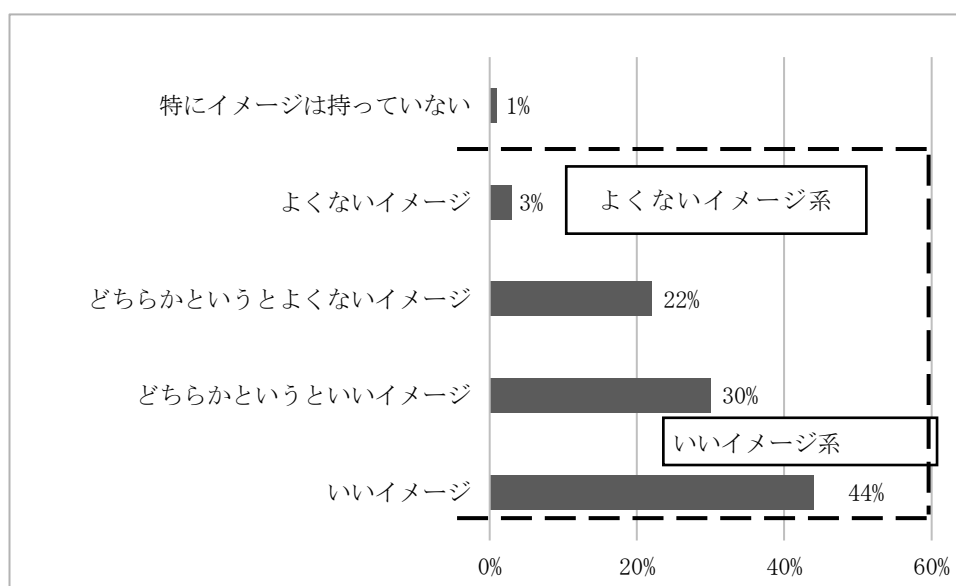


図1 「女子力」の捉え方の全体像

図1から、「女子力」に対するイメージの相違が見られ、「女子力」の捉え方は一様ではないことがうかがえるが、「特にイメージは持っていない」から「いいイメージ」までの回答者数の割合の純増傾向を示している。今回の調査範囲では、「女子力」に対する「いいイメージ」を持つ回答者の割合が最も多いことが読み取れ、その次は「どちらかというといいイメージ」である。「いいイメージ」と「どちらかというといいイメージ」を「いいイメージ系」に、「よくないイメージ」「どちらかというとよくないイメージ」を「よくないイメージ系」にまとめてみると、「いいイメージ系」は74%を占め、「よくないイメージ系」は25%にとどまる。

4.2. 「女子力」を巡る評価表現

本節では、「いいイメージ」から「よくないイメージ」の順で、3節で述べたアプレイザル理論の枠組に基づき「女子力」を巡る評価表現に焦点を当て、分析を行う。

まず、いいイメージを持つ理由における評価表現を見る。

【データ 1: いいイメージを持つ理由における評価表現】^③

- (1) プラスの時にしか使っているように思えないから。(男性、10代)
- (2) その人の頑張りを評価してくれるものだから。(男性、20代)
- (3) 細部まで気を遣う、きちんとした、よくできた人間という感じがするので。(男性、10代)
- (4) 女子力のある女性に惚れるから。(男性、20代)
- (5) 褒め言葉だと思っているから。(女性、20代)
- (6) 女子力がある人はいろいろなことに気をつけてる人が多いと思うので、素敵だと思うから。(女性、10代)
- (7) 女の子らしさは自分にはなくて憧れるから。(女性、10代)
- (8) 女子力を上げようと、自分磨きをしているから。(女性、10代)

「いいイメージ」を持つ理由においては、回答者（評価者）は肯定的な態度を示す評価表現を用いていることが今回収集したデータから読み取れる。

例えば、【データ 1】の (1) ~ (4) は「女子力」に対して「いいイメージ」を持つ男性の理由のデータの一部である。(1) (2) では、「女子力」ということばの使用（事象）を「プラスの時」「人の頑張りを評価してくれるもの」(appreciation) として肯定的に評価している。(3) では、「女子力」の持ち主（人の習慣・性格・行動）を評価対象とする「細部まで気を遣う」「きちんとした」「よくできた」といった特徴・信頼性・能力を表す肯定的な評価表現 (judgement) が見られる。そして、(4) は「女子力のある女性」を対象に、「惚れる」という「評価者の心情 (affect)」を肯定的に示す表現で「女子力」に対して「いいイメージ」を持つ理由を述べている。(1) ~ (4) に見られる表現はいずれも「直接表現」である。つまり、「プラスの時」「人の頑張りを評価してくれるもの」「よくできた」「惚れる」といった明確に態度を示す表現で「女子力」に対しての捉え方を示している。

(5) ~ (8) は「女子力」に対して「いいイメージ」を持つ女性の理由のデータの一部である。まず、(5) では、「女子力」ということば（事象）に対して「褒め言葉」という評価表現が見られる。(6) では、「女子力」の持ち主（人の習慣・性格・行動）を評価対象とする「いろいろなことに気をつけてる」「素敵」という評価表現が見られる。そして、(7) では、「女の子らしさ」へ「憧れる」という「評価者の心情 (affect)」を示す表現で「女子力」に対して「いいイメージ」を持つ理由を述べている。また、(8) は「女子力」の持ち主に対して「自分磨きをしている」という表現で肯定的に評価している。表現の「直接性/間接性」では、(5) ~ (8) はいずれも「直接表現」で、つまり、「褒め言葉」「いろいろなことに気をつけてる」「素敵」「憧れる」「自分磨きをしている」という明確に態度を表す表現で直接的に「女子力」を評価している。

今回収集した「いいイメージ」を持つ理由の内容から観察された評価表現は以下の表 3 にまとめることができる。

表3 「いいイメージ」を持つ理由における評価表現

女性/男性	直接/間接	評価表現
女性	直接表現	affect (感情) :憧れる judgement (規範・世評) : いろいろなことに気をつけてる、素敵、自分に自信が持てる、周りから良い印象を持たれる、自分磨きをしている appreciation (反応・構成・価値) : きれい、褒め言葉、良い意味で使う、単語が可愛い
	間接表現	なし
男性	直接表現	affect (感情) :惚れる、好感を持つ judgement (規範・世評) : 可愛いらしい、かわいい、能力高い、気を遣う、きちんとした、よくできた、家事ができる、いいイメージ appreciation (反応・構成・価値) : きれいに見える、プラス時に使う、人の頑張りを評価してくれる
	間接表現	お付き合いしていそうな人は女子力が高そうなイメージがある

表3から、「女子力」に対して「いいイメージ」を持つ理由では、「affect (感情)」「judgement (規範・世評)」「appreciation (反応・構成・価値)」のいずれの項目にも評価表現が観察された。つまり、評価者の心情を表す表現、「女子力」の持ち主の「習慣・性格・行動」を評価対象とする「特徴・能力・信頼性」を表す表現、「女子力」ということば自体の内容および使用を評価する表現が「女子力」に対して「いいイメージ」を持つ理由から見られる。

これらの評価表現から、「いいイメージ」を持つ回答者は「女子力」ということばと「女子力」の持ち主の両方に肯定的評価を示していることが分かる。

【データ2：どちらかというといいイメージを持つ理由における評価表現】

- (1) 女子力あるねと言われると嬉しいが、からかっているようにも聞こえることがある。(女性、10代)
- (2) 身だしなみがきちんとしていて、清潔感があるイメージがあるから。(女性、20代)
- (3) 女性性の価値観の決めつけや押し付けという面はあるかもしれないが、女子力が高いこと自体は生きていく上で困るものではないように感じるから。(女性、20代)
- (4) 男子だから女子力があるとされると嬉しいから。(男性、20代)
- (5) ちょっと皮肉めいたニュアンスも含まれている。(男性、20代)
- (6) 女の子としてどれだけ優れているかということを表しているようだから。(男性、20代)

【データ2】の(1)～(6)が示すように、「どちらかというといいイメージ」を持つ理由においては、肯定的な態度を示す評価表現だけではなく、否定的な態度を示す評価表現も見られる。

(1)～(3)は「どちらかというといいイメージ」を持つ女性の理由のデータの一部である。(1)では、「女子力あるね」という発言に対して「嬉しい」という「評価者の心情(affect)」を示す表現で肯定的な態度が示されることが見られる一方、「からかっているように聞こえる」という否定的な態度を示す評価表現も見られる。(2)では、「女子力」の持ち主(人の習慣・性格・行動)を評価対象とする「身だしなみがきちんとして」「清潔感がある」といった評価表現が見られる。(3)では、まず、「女性性の価値観の決めつけや押し付け」の表現で「女子力」ということば(事象)に対して否定的な態度が示されるが、認識のモダリティーの「かもしれない」でその否定的な態度を和らげている。そして、逆接を表す「が」で「生きていく上で困るものではない」という肯定的な態度が示される表現にシフトしたことが分かる。「嬉しい」「からかっているようにも聞こえる」および「女性性の価値観の決めつけや押し付け」「生きていく上で困るものではない」から、「どちらかというといいイメージ」を持つ理由においては、評価表現に一貫性が保たれていないことが見られ、そこから「女子力」ということばの二面性が読み取れる。

(4)～(6)は「どちらかというといいイメージ」を持つ男性の理由の一部のデータである。(4)では、「女子力がある」と言われることに対して「嬉しい」という「評価者の心情(affect)」を示す評価表現が見られる。(5)は「皮肉めいたニュアンス」で「女子力」ということば(事象)に対して否定的に評価していることが分かる。そして、(6)では、「優れている」という形で、「女子力」の持ち主に対して肯定的に評価していることが見られる。なお、今回収集した「どちらかというといいイメージ」を持つ理由における評価表現は以下の表4にまとめられる。

表4「どちらかというといいイメージ」を持つ理由における評価表現

女性/男性	直接/間接	評価表現
女性	直接表現	affect (感情): 嬉しい、からかっているようにも聞こえる judgement (規範・世評): 持てる、誉められる、魅力、身だしなみがきちんとして、清潔感がある appreciation (反応・構成・価値): 良い、気が利いた行動、皮肉、女性性の価値観の決めつけや押し付け、生きていく上で困るものではない
	間接表現	なし
男性	直接表現	affect (感情): 嬉しい judgement (規範・世評): 気配りができる、女子力のある人の方が良い、優れている appreciation (反応・構成・価値): 良いこと、悪い言葉として使われた場面を見た事がない、皮肉のニュアンス
	間接表現	なし

表4から、「女子力」に対して「どちらかというといいイメージ」を持つ理由においては、「affect (感情)」「judgement (規範・世評)」「appreciation (反応・構成・価値)」のい

ずれの項目にも評価表現が観察された。つまり、「評価者の心情」を示す表現、「女子力」の持ち主（習慣・性格・行動）を評価対象とする「特徴・能力・信頼性」を示す表現、「女子力」ということばの内容および使用を評価する表現が「女子力」に対して「どちらかというといいイメージ」を持つ理由に見られる。これは「女子力」に対して「いいイメージ」を持つ理由に観察された評価表現の分布と同じであるが、その具体的な表現においては、「嬉しい」「良い」「悪い言葉として使われた場面を見た事がない」といった肯定的な態度が示される表現が見られる一方、「からかっているようにも聞こえる」「皮肉のニュアンス」という否定的な態度が示される表現もある。ここから、「女子力」の二面性が浮上してきた。つまり、「女子力」に対して肯定的に捉えられる部分と否定的に捉えられる部分の両方が見られる。

【データ3：どちらかというともよくない・よくないイメージにおける評価表現】

- (1) めんどくさそう。(女性、20代)
- (2) 定義が曖昧だから。女はこうあるべき、男はこうあるべきでないと規定するようでジェンダー的に問題がある言葉だから。(女性、20代)
- (3) 女子力と言われるものは、特に女性だけでなく、人として必要な能力や振る舞いだと思うから。(女性、20代)
- (4) 紋切り型の女性像に基づく表現だから時代に合っていないため。(男性、10代)
- (5) ステレオタイプを助長しているように思えるから。(男性、20代)
- (6) 自分があまり女子力が高い女子ではなく、からかわれたりしたことがあるから。(女性、20代)
- (7) 差別されてるように感じる。(女性、20代)

「どちらかというともよくないイメージ」および「よくないイメージ」を持つ理由においては、回答者（評価者）は否定的な態度を示す評価表現を用いている。例えば、上記の(1)～(3)は、「女子力」に対して「どちらかというともよくないイメージ」を持つ女性の特徴の一部のデータである。(1)では、「女子力」に対しての否定的な態度が「めんどくさそう」という「評価者の心情 (affect)」を表す表現により示されている。そして、(2)では、「女子力」に対する否定的な態度が「定義が曖昧」および「ジェンダー的に問題がある」という表現より示されている。また、(3)は「女子力」の内容は「特に女性だけでなく、人として必要な能力や振る舞いだ」という「間接表現」で、「女子力」に対する否定的な態度が示される。

(4)と(5)は「女子力」に対して「どちらかというともよくないイメージ」を持つ男性の理由の一部である。(4)では、「女子力」に対しての否定的な態度は「紋切り型の女性像に基づく表現」および、「時代に合っていない」という表現で示されている。そして、(5)では、「ステレオタイプを助長している」で「女子力」に対しての否定的な態度が示されている。また、今回の調査範囲では、「女子力」に対して「よくないイメージ」を持つと回答したのは女性のみに見られる。その理由は上記の(6)と(7)が示したようである。(6)(7)から、「女子力」に対する否定的な態度が「からかわれる」「差別される」と

いう「評価者の心情 (affect)」を表す評価表現で示されている。

今回収集した、「どちらかというときよくないイメージ」および「よくないイメージ」を持つ理由における評価表現は以下の表5のようにまとめられる。

表5「どちらかというときよくない・よくないイメージ」を持つ理由における評価表現

女性/男性	直接/間接	評価表現
女性	直接表現	<p>affect (感情) :めんどくさそう、からかわれる、差別される</p> <p>judgement (規範・世評) :なし</p> <p>appreciation (反応・構成・価値) :定義が曖昧、ジェンダー的に問題がある、女性らしくあるべきだという概念を無意識的に押し付けている、大変、女性らしさの押し付け、「女子」に固定する必要は無い</p>
	間接表現	女子力と言われるものは、特に女性だけでなく、人として必要な能力や振る舞いだ
男性	直接表現	<p>affect (感情) :なし</p> <p>judgement (規範・世評) :なし</p> <p>appreciation (反応・構成・価値) :意味するところ、定義するところが曖昧、ステレオタイプを助長している、差別的な意味を含む、時代に合っていない</p>
	間接表現	「やばい」のように人によって捉え方が異なっている

表5から、「女子力」に対して「どちらかというときよくないイメージ」を持つ理由においては、「affect (感情)」「appreciation (反応・構成・価値)」の項目には評価表現が観察されたが、「judgement (規範・世評)」の項目には評価表現が見られなかった。つまり、「評価者の心情 (affect)」を示す表現、「女子力」ということばの意味、内容、および使用を評価する表現は見られるが、「女子力」の持ち主の「習慣・性格・行動」を評価対象とする「特徴・能力・信頼性」を表す表現は観察されなかった。また、「評価者の心情 (affect)」を示す表現は女性の評価のみに見られた。このことから、「女子力」が否定的に捉えられるのは、「女子力」の持ち主ではなく、その語に関わる「ジェンダー」の問題からであると言える。

馬 (2019) は「女子力」イコール「女性らしさ」と捉える人もいること、「女子力」は「女性らしさ」を構築する動的なプロセスを可視化することばであることを述べている。「女子力」が肯定的および否定的に捉えられるのは、「女子力」は「女性らしさ」と関連を持つからである。「女子力」は「女性らしさ」と同じく、社会に認められ評価される「女性があるべき姿」という側面があると同時に、「女性」に対するステレオタイプ、規範という側面もある。したがって、「女子力」を巡る評価には、「憧れる」「好感を持つ」「素敵」「誉められる」「魅力」「きちんとした」という肯定的な態度を示す語彙・表現がある一方、「ジェンダー的に問題がある」「女性らしさの押し付け」「女子」に固定する必要は無い」「めんどくさそう」「差別される」という否定的な態度を示す語彙・表現も見られ

る。そして、「女子力」ということばの持つ能力の要素も「女子力」が二面性を持つ理由になる。

5. まとめ

本研究は、アプレイザル理論を分析の枠組として、「女子力」はどのように評価され、そこにはどのような評価表現が見られ、「女子力」に対しての捉え方の特徴を論じた。

「女子力」の捉え方の全体像としては、「いいイメージ」から、「どちらかというといいイメージ」「どちらかというとよくないイメージ」「よくないイメージ」のいずれにも回答の分布が観察された。これは、「女子力」に対するイメージにはバリエーションが見られ、「女子力」の捉え方が一様ではないことを示した。そして、アプレイザル理論を用いて、評価表現を分析した結果、「いいイメージ系」を持つ回答者は「女子力」ということばと「女子力」の持ち主の両方に肯定的評価を示している一方、「よくないイメージ系」を持つ回答者は「女子力」ということばのみに否定的評価を述べている。このことから、「女子力」が否定的に捉えられるのは、「女子力」の持ち主ではなく、その語に関わる「ジェンダー」の問題からであること、「女子力」は二面性を持っているが分かった。

注

- ⁽¹⁾ 括弧内の日本語訳は佐野（2010）を引用した。
- ⁽²⁾ 「女子力」を巡る評価の分析にあたっては、どのような語りでどのような語彙・表現があるかに焦点を当て分析するため、全体的には質的に進める。統計的分析は行わない。
- ⁽³⁾ データに二重下線で引いているのは、評価表現を指す。以下は同様である。

参考文献

- 佐野大樹（2010）「ブログにおける評価表現の使い分けの特徴ーアプレイザル理論からみた評価基準と表現の直接性/間接性の関係ー」『計量国語学』27（7）計量国語学会 249-269
- 佐野大樹（2012）「日本語アプレイザル評価表現辞書（JAAppraisal 辞書）～態度評価編～ Version1.2 仕様説明書，及び，評価表現分類表」大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立国語研究所 コーパス開発センター
https://www.gsk.or.jp/files/catalog/GSK2011-C/JAAppraisal1.2_READMEONLY-release1.0.1-active.pdf
- 樋口文彦（2001）「形容詞の評価的な意味」言語学研究会（編）『ことばの科学』10 むぎ書房 43-66
- 馬雯雯（2019）「ジェンダーに関わる表現「女子力」についての考察ー「女子力」を巡る記述における言語標識を中心にー」『ことば』40 現代日本語研究会 90-105
- 八亀裕美（2003）「形容詞の評価的意味と形容詞分類」『阪大日本語研究』15 大阪大学大学院文学研究科日本語学講座 13-40

（馬雯雯、中央民族大学、aiwen92@126.com）